

2回生 必修教科「家庭」授業のシラバス

教科名	技術・家庭	科目名	家庭分野	単位数	35	時間
科目の目標	○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。 ○家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。					
教科書	技術・家庭 家庭分野（開隆堂） 生活の土台 自立と共生	副教材				

1 学習の目標

- 健康・安全で豊かな食生活に向けて考え、工夫する活動を通して、中学生に必要な栄養の特徴や健康によい食習慣、栄養素や食品の種類と概量、献立作成、食品の選択と調理などに関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、食生活の課題を解決する力を養い、食生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。
- 持続可能な社会の構築について考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識・技能を身に付け、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する。

2 学習の方法

- 予習について
○場合によっては指示することがあります。
- 授業について
○教科書、ワークシートを使用します。実習ではエプロン・三角巾を使用します。
- 復習について
○学んだことを生活に活かしましょう。

〈学習アドバイス〉

○住環境や食、消費について関心をもち、家庭で実践できる知識や技術を身につけましょう。ここでの学びは将来の生活に直結することばかりです。生活という土台をしっかりと築くために視野を広げ、貪欲に学習していきましょう。

3 評価について

（1）評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	家庭の基本的な機能について理解し、生活の自立に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付けている。
②思考・判断・表現	家族・家庭や地域の生活の中から問題を見出して課題を設定し、その解決を目指し、これからの生活を展望して工夫し創造している。
③主体的に学習に取り組む態度	衣食住や家族の生活などに関する知識・技能を身に付け、家族や地域の人々と協働して生活を工夫し創造し、主体的に実践しようとしている。

（2）評価の方法（以下観点①～③は「（1）評価の観点」と対応する）

観 点	評価材料	定期 考 査	単元 テ ス ト	小 テ ス ト	実技 実 習	発言 発 表	作 品	レポ ー ト	ハ ート	ワー ク シ ー ト	討 議				
①知識・技能		○		○	○		○			○					
②思考・判断・表現		○			○	○	○	○		○	○				
③主体的に学習に取り組む態度					○	○	○	○		○	○				

〈担当者からのメッセージ〉

○生活力を身につける学習をしていきましょう。実習では実践あるのみ！です。
○日常の授業を大切にしましょう。ここでの知識と技術はあなたの将来の生活を支えます！

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊 重の心	強くし なやか な心身	日本人 としての 誇り	多様性 の尊重
関心 ・意欲	問題 発見力	情報 収集力	論理的 思考力	共感的 態度	意見交換 ・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心をもち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されことなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形の美や自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考查等	資質・能力
4	B 衣食住の生活 1. 食事の役割と栄養（9）	○食事について考える ○生活のリズムと食事 ○栄養素のはたらきと食品 ○栄養成分 ○中学生に必要な栄養 ○食事の計画・献立 ○食事バランスガイド	①食事の役割や健康とのかかわりおよび食品の栄養的特質に関心を持っている ①②中学生に必要な栄養素を満たす献立を工夫している。 ①③自分の食事を点検するとともに、食品群別摂取量の目安を用いて中学生の1日分の献立を考えることができる。 ①食事の役割や健康とのかかわり、五大栄養素の種類や働きについて理解している。		ABC
5					
6					
7					
8					
9	2. 栄養を満たす食事（4）	○生鮮食品の選び方 ○加工食品について ○食品の保存	①②生鮮食料品や加工食品を適切に選択している。 ①②加工食品の表示の意味を理解し、読み取ることができる。	期末考查	AD
10					
11					
12					
1					
1	C 消費生活・環境 1. 金銭の管理と購入（3）	○自分の消費行動を振り返る	①②情報を収集・整理し、物資・サービスを適切に選択、購入、活用しようとしている。		A
2					
3					
4					
5					
6	2. 消費者の権利と責任（2）	○商品の選択と購入 ○契約/販売方法と支払い方法	③自分環境とのかかわりに関心をもって学ぼうとしている。 ②③消費生活の問題点を見つけ、収集・整理した情報を活用し、生活をよりよくする工夫を考えている。 ③物資の購入・活用・廃棄を工夫している。 ③具体的な物資・サービスの事例について、情報を収集・整理し適切な選択、購入及び活用ができている。		ABCD
7					
8					
9					
10					
11	3. 消費生活・環境についての課題と実践（6）	○消費者の権利 ○中学生の消費者トラブル	①消費者の権利と消費者保護基本法の趣旨を理解している。 ①物資の選択、購入、活用、廃棄に関する基本的な内容を理解している。		ABCDG
12					
1					
2					
3					
4		○身近な環境問題 ○SDGS	①環境に関して、現在取り組むべき問題が何かを理解している。 ②環境問題における課題設定、解決策の構築、論理的な表現ができる。	期末考查	ABCF
5					
6					
7					
8					